

令和 5 年度 久留米市のごみ量について

1 令和 5 年度ごみ量の概要

- (1) 久留米市のごみ総排出量は 97,386 トン（前年度比+1,296 トン）
- ・家庭系ごみ排出量は 65,734 トン（前年度比+877 トン）
 - ・事業系ごみ排出量は 31,652 トン（前年度比+419 トン）

(2) 総ごみ排出量増加の要因

- ・令和 5 年度に発生した豪雨災害による災害ごみ 4,141 トン
（内訳：家庭系 3,885 トン、事業系 256 トン）

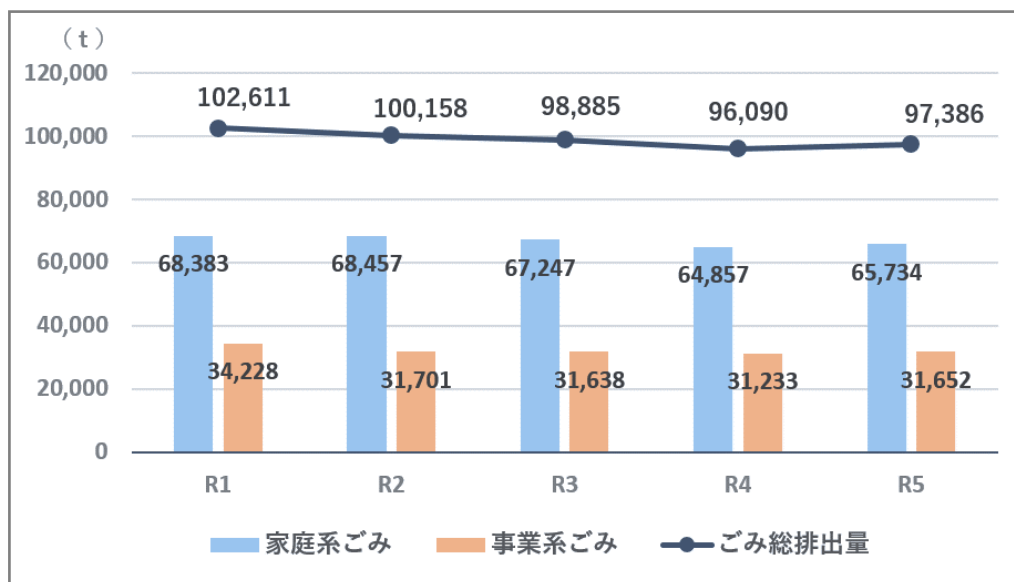
区 分	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	前年比
総ごみ排出量 A ①+② () は災害ごみ量	98,885 t (643 t)	96,090 t (0 t)	97,386 t (4,141 t)	+1.3%
※地域での集団回収を含む				
増減量	▲1,273 t	▲2,795 t	1,296 t	
内 家庭系 ①	67,247 t	64,857 t	65,734 t	+1.4%
増減量	▲1,210 t	▲2,390 t	877 t	
事業系 ②	31,638 t	31,233 t	31,652 t	+1.3%
増減量	▲63 t	▲405 t	419 t	
リサイクル量 B	21,558 t	20,603 t	21,102 t	+2.4%
増減量	▲1,205 t	▲955 t	499 t	
リサイクル率 B/A	21.8%	21.4%	21.7%	
増減量	▲0.9%	▲0.4%	0.3%	
市民一人一日あたりの排出量	893 g	870 g	884 g	

※久留米市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

最終目標値（R9）市民一人一日あたりの排出量：886 g 以下

リサイクル率：24%以上

2 ごみ量の推移



3 ごみ減量の取り組み

ごみの減量は多くの市民、事業者がごみに対する関心を高め、行動していくことが重要であるため、市民や事業者の皆様と協働しながら、ごみの減量・リサイクルを進めていく。

＜具体的施策＞

- ① ごみ減量分別推進員に対するごみ分別説明会や小学校等で3 R 学習会の開催
- ② 「てまえどりキャンペーン」実施による食品ロス削減の啓発（R2～）
- ③ 環境ポータルサイト（ecoco）内の動画を活用した広報、啓発（R3～）
- ④ 「マイボトル推奨店事業」によるプラスチックごみ削減の啓発（R3～）
- ⑤ プラスチックごみ削減についてのキャッチコピー・取り組みを R4 に募集した成果を活用し、それをういた啓発活動（R5～）
- ⑥ 企業と連携したごみ減量の取り組み
 - ・ 民間リユースショップ 2 社とリユース事業に関する協定を締結、市公式HP等を活用し、不用品の再使用（リユース）を促進（R5～）
 - ・ (株) セブンイレブン・ジャパンとペットボトルリサイクル事業に係る協定を締結、市公式HPやイベント参加によるペットボトル回収事業の周知・広報（R5～）
 - ・ ゆめタウン久留米での特小型指定ごみ袋を使った分別実例及び容器包装プラスチックの分別パネルを展示（R6）
 - ・ 久留米ガスと協働でエコクッキングを実施し、食品ロス削減を啓発（R6）
- ⑦ リサイクルの推進と可燃ごみの減少を目指し、特小型指定ごみ袋を導入（R6～）